

2011 年度秋学期 日本理解に関する科目・授業概要

	授業科目名 Subject	担当教員 Lecturer	曜・時限・教室 Period, Classroom	目標 Aim	内容とテキスト Course outline, Textbook
日 本 の 文 化 と 社 会 *	日本の文化と社会 B	神埜正子 (かみや まさこ) 石川尚子 (いしかわ なおこ)	月・1 N101	本科目は、諸外国の影響を受けながら、長い年月をかけて日本人が生み出し、育んできた、衣生活・食生活について、階層、時代、地域などを切り口に、文化の視点から捉えようとするものである。衣生活や食生活に生かされたこうした知恵や文化がいかに継承されているかなどを学んで、現在の日本の文化と社会を再認識するきっかけとし、生活文化の視点から日本への理解を深めてほしい。	【内容】衣生活については、古代から現代に至る変化をとらえ、それぞれの時代の文化の成立と現在まで受け継がれている伝統行事の関連で展開する。食生活については、日本の食文化を社会の変化と共にとらえ、さらに今日の食生活の問題点に触れつつ、食生活・食文化の発展とは何かについて考える。 【テキスト】特になし。 【評価方法】平常点評価(授業への参加状況)50%。レポートおよびペーパーテスト50%(各講師の持ち点25%ずつ)。①1~7週(神埜)については毎回のまとめのミニレポートおよび最終日(7回目)のペーパーテスト。②8~15週(石川)については毎回のミニレポートおよび最終日(15回目)のペーパーテスト。このテストには、配付資料の持ち込みを可とする。
	日本の文化と社会 D	椿 真智子 (つばき まちこ)	木・1 C103	日本の文化や社会について、おもに風土や文化、景観、人口構造、生業などをおして、その特徴や変化、地域的などを理解するとともに、それらを考察するための視点や方法を習得する。	【内容】地理的な視点を軸として、日本の社会や生活文化、景観、生業形態などの特徴とその背景について解説し、また近代以降、日本の社会や文化がどのような変化をとげて現代の特徴を持つに至ったのかを論じる。 【テキスト】とくに使用しない。授業時に必要に応じてプリント・資料等を配布する。 【評価方法】学期末の筆記試験(60%)と出席(40%)で評価する。
	日本の文化と社会 F	日高 慎 (ひだか まこと)	木・1 S102	本講義では考古学をもとにして旧石器時代から近代・現代までの日本歴史・文化について通観する。考古学は発掘調査によって出土した遺構・遺物をもとに歴史を復元する学問である。歴史はかかれたもの、すなわち文献史料を用いて説明を行うことが多いものの、考古学の成果を無視しては日本歴史は語れない。本講義を通じて考古学の特徴を理解してほしい。	【内容】考古学は発掘調査の成果から歴史を復元する学問である。歴史は書かれたもの(文献史料)で説明されることが多いが、かかれたものはきわめて限定的であるとともに、支配者側の論理によって書き留められることが多い。つまり文献史料だけで歴史を語ることは、一方的な歴史解釈になってしまいがちである。それに対して考古資料は人々の生活そのものが残されることが多い。考古学の成果を通じて日本歴史・文化を考えたい。 【テキスト】なし 【参考文献】図解・日本の人類遺跡(東京大学出版会)、図解・日本の中世遺跡(東京大学出版会) 【成績評価】平常点40%、最終テスト60%。平常点は出席及び小レポートによって採点する。最終テストは授業で取り上げたテーマに関して出題し、解答をまとめる。

	日本の文化と社会 H	鈴木 秀人 (すずき ひでと)	月・1 N206	日本の文化と社会についての理解を深める。	【内容】特に、外来の文化としてのスポーツの受容と固有の文化としての武道の変容に焦点を当てながら、日本の文化と社会について知る。 【テキスト】なし 【評価方法】出席と授業への取り組み
--	---------------	--------------------	-------------	----------------------	--

* 「日本の文化と社会 A・C・E・G」は、春学期に開講します。「日本の文化と社会」の授業内容は、「大学ホームページ>学内ネットワーク>シラバス検索」からも見られます。

日 本 研 究 科 目 **	日本研究演習 A (社会)	加藤 拓 (かとう たく)	金・4 N202	日本国内での小売サービス業の歴史的、空間的な発展について分析し、消費者行動との関連を考える。	【内容】日本の小売サービス業には、百貨店、アウトレット・モール、郊外型大型ショッピングセンターなど広域から集客する業態から、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ファースト・フード、100円ショップなど店舗を近くに集中させる業態まで、様々な種類が存在する。それらの発展の歴史的背景や地域展開、社会問題などを紹介する。受講生の皆さんには、自国の代表的な企業について分析し、日本の企業との共通点と相違点を発表していただく予定です。 【テキスト】とくに定めません。【評価方法】平常点 20%、発表 40%、レポート 40%
	日本研究 B (人文)	有澤知乃 (ありさわし の)	火・2 S305	日本の祭りについて、宗教、社会、文化など様々な観点から考察します。	【内容】日本全国の祭りについて、映像資料を見ながら学びます。京都の祇園祭では、どうして華やかな山鉾を曳いて人々が街を練り歩くのでしょうか？盆踊りの歌や踊りに込められている意味は？札幌雪まつりが国際的な祭りに発展した背景は？各地の人々の風俗や信仰が、祭りの中にどのような形で表れているかを考え、更に現代社会における祭りの変遷や新しい取り組みについても議論します。課題として、各自で祭りに行ってフィールドワークを行い、観察したこと、考えたことについて発表をしてもらいます。 【テキスト】とくに定めません。【評価方法】平常点15%、発表35%、レポート50%

<p>日本研究演習C (比較研究)</p>	<p>戸田 孝子 (とだ たかこ)</p>	<p>火・5 W301 フィール ドワーク を含み 15時間</p>	<p>【ねらい】この授業は、比較文化の視点から、主に「学校、教育、教師、子供、若者」をテーマに、日本人学生との討論、日本の小学生とのコミュニケーションを通し、理解を深めることをねらいとしている。</p> <p>【備考】火曜日の5時限に毎回参加する必要はない。学校訪問日は、国分寺駅朝8時30分集合となる、交通費、給食費は、各自用意する。メール登録し、「日本研究C連絡」をチェックする。</p>	<p>【内容】①10月18日、授業の概要についてオリエンテーションを受け、メールで受講登録をする。②日本人学生に伝える母国の事情について、「学校、教育、教師、子供、若者」の中から一つテーマを選び、パワーポイントを用いた短いプレゼンテーションを準備する。③少人数の日本人学生のクラスで、発表し、互いに興味のある具体的問題について、質問し合う。④日本の小学校へ送る自己紹介の絵手紙を準備する。⑤返信手紙を受け取った子供のクラスを訪問して一日を一緒に過ごす。⑥発表をした日本人の学生のクラスで、日本の小学校体験の感想をスピーチし、互いに、興味のある具体的問題について、質問し合う。⑦発表をした日本人学生のクラスで、学生とお楽しみ会を企画し、交流を深める。</p> <p>【スケジュール】詳しいスケジュールについては、メールで連絡をするが、パワーポイントのプレゼンテーションは、11月から12月まで、各自1回。子供たちへ送る絵手紙の締め切りは、11月中旬、子供たちからの返信の受け取りは1月初旬、小学校クラス訪問は、1月末、学校訪問の感想スピーチは1月末～2月の予定。日本人学生とのお楽しみ会は、12月末の予定。</p> <p>【成績評価】パワーポイントを用いたスピーチと話し合い参加、子供達への絵手紙提出、小学校訪問、学校訪問の感想スピーチと話し合い参加、以上により成績をつける。</p>
<p>日本研究 D (芸術)</p>	<p>石井 健 (いしい たけし)</p>	<p>月・2 ***書道演習室</p>	<p>書道や文字を書くことに用いる道具の歴史や製法、文化的意味について、具体的な事例を取り上げながら学びます。</p>	<p>【内容】筆、墨、紙、硯、鉛筆、ボールペン、ワードプロセッサなど、書道や文字を書くことにかかわる道具について概観した上で、歴史や製法、文化的意味などの基本的な事項について学びます。代表的な文房具を選び、図版や映像・文献資料を使いながら理解を深めるようにし、学生の皆さんにも、各自テーマを選んで、発表をしてもらいます。</p> <p>【テキスト】とくに用いない。必要に応じ資料を配布する。</p> <p>【評価方法】平常点 30% 発表 30% レポート 40%</p>

**「日本研究 A・C」「日本研究演習 B・D」は、春学期に開講します。

***書道演習室は 芸術・スポーツ科学系研究棟 4号館 2階 にあります。